

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	リファレンス・サービスライフ設定小委員会	主 査 名：本橋健司 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (耐久保全運営委員会)	委員長名：梶田佳寛 主 査 名：井上照郷
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <p>1) 建築物の耐久設計に関する一連の ISO 規格 (ISO15686 シリーズ) が発効してきている状況下で、日本での規格化を支援。</p> <p>2) ISO 規格に基づいて耐久設計ができる技術的基盤の醸成。</p> <p>3) ISO 規格を活用するために必要な各国でやるべきことを先取りし、性能データの評価と作成方法を検討。</p> <p>(各年度活動計画)</p> <p>2007 年度： ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフの設定に関する技術データの収集及び収集システム確立のための調査</p> <p>2008 年度： ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフの設定に関する技術データの収集及び収集システム確立のための調査の継続</p> <p>2009 年度： ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフの設定と耐久設計例の蓄積</p> <p>2010 年度： ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフの設定 耐久設計のためのデータ収集システムの提案 耐久設計例の蓄積 上記を内容とする技術指針の作成および講習会の開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無し</p> <p>本橋健司 (建築研究所)、鹿毛忠継 (建築研究所)、古賀純子 (建築研究所)、楡木堯 ((財)ベターリビング)、兼松学 (東京理科大学)、今本啓一 (東京理科大学)、興石直幸 (早稲田大学)、井上照郷 (日本建築仕上材工業会)、大澤悟 (建設業協会)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p style="text-align: center;"><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>本年度は当小委員会の最終年度であり、継続してファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフの設定に関する技術データの収集を実施すると共に、リファレンス・サービスライフの委員会データを得るため、実態調査を実施した。</p> <p>当初予定していた技術指針の作成および講習会については達成できなかったが、実際の建築物の建築用仕上塗材の劣化実態調査を実施し、リファレンスサービスライフに関するデータを収集分析した研究成果については、日本建築学会大会(2010年)において3報に分けて発表された。</p> <p>一定の成果が得られたと考える。</p>
<p><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。